

■進捗状況

中項目 3 - 10

公開日：2023年 6月

分野	項目名
SDGs	国連等の諸機関との連携
内容	
<p>これまで国連諸機関と連携し、難民の就学支援や、講演会・シンポジウムの開催等に取り組んできた。また、国連が世界の大学等の高等教育機関との連携を推進する「国連アカデミック・インパクト」に加盟し、学内外でSDGs活動を推進してきた他、ユネスコスクールに小中学校が加盟を目指すための支援活動を展開してきた。</p> <p>SDGsの達成に向け、国連諸機関との連携を強化するとともに、ASAIHL（東南アジア高等教育協会）等の諸機関との交流を通し、「誰も置き去りにしない」という地球社会の実現に取り組む。</p>	
取組状況	
2021年度	<p>国連開発計画（UNDP）、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、国連食糧農業機関（FAO）などの国連機関との連携を強化しインターンシップ実施も含めた協力事業を推進した。また、国連アカデミックインパクト参加大学、さらには国連大学サステナビリティ高等研究所（UNU-IAS）のプラットフォーム参加大学として、SDGs推進に先導的役割を果たせるよう各種活動に取り組んだ。また、ユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUnivNet）の活動を通じて、八王子を含む多摩地域を中心に、ESD教育分野でも貢献する活動を進めた。</p>
2022年度	<p>国連開発計画（UNDP）、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、国連食糧農業機関（FAO）、国際熱帯木材機関（ITTO）でのインターンシップ事業や平和講座の実施など協力事業を推進した。また、難民高等教育プログラム（RHEP）の受け入れおよび修了者の進路支援を推進した。さらに本学平和問題研究所で難民研究プロジェクトを発足させ、UNHCRと連携しながら研究会などを開催した。ユネスコスクール支援委員会の活動としては、海外のユネスコスクールとの連携を強化するとともに、地域に開いたSDGs講座等を定期的で開催し、ユネスコスクール関東ブロック大会を本学で開催した。そして、情報集約と発信の強化として、国連アカデミックインパクトのSDGs推進活動の情報を集約するためのプラットフォーム構築への検討を進めた。</p>
2023年度	
2024年度	
2025年度	
2026年度	
2027年度	
2028年度	
2029年度	
2030年度	

## 事業計画 3-10-26

達成度 A・・・達成 B・・・一部達成 C・・・未達成

計画名	UNHCR難民高等教育プログラム（RHEP）等による難民の就学支援					
実行開始年度	2021年度					
年度達成度	2021年度	B	2025年度		2028年度	
	2022年度	A	2026年度		2029年度	
	2023年度		2027年度		2030年度	
	2024年度		最終目標からの達成度		B	

## 事業計画 3-10-27

計画名	UNDP（国連開発計画）やFAO（国際連合食糧農業機関）等との連携強化					
実行開始年度	2021年度					
年度達成度	2021年度	B	2025年度		2028年度	
	2022年度	B	2026年度		2029年度	
	2023年度		2027年度		2030年度	
	2024年度		最終目標からの達成度		B	

## 事業計画 3-10-28

計画名	国連アカデミック・インパクトでの活動等を通じたSDGsの推進					
実行開始年度	2021年度					
年度達成度	2021年度	A	2025年度		2028年度	
	2022年度	A	2026年度		2029年度	
	2023年度		2027年度		2030年度	
	2024年度		最終目標からの達成度		B	

## 事業計画 3-10-29

計画名	ESDに寄与する教員養成プログラム開発とユネスコスクール支援					
実行開始年度	2021年度					
年度達成度	2021年度	A	2025年度		2028年度	
	2022年度	A	2026年度		2029年度	
	2023年度		2027年度		2030年度	
	2024年度		最終目標からの達成度		B	